南幌町議会まちづくり特別委員会記録

【第11回】 令和 年 第 回議会（定例会・臨時会）（開会中・ 休会中 ・閉会中）			
会議日時	令和 6年 3月26日 午後 1時30分開会 令和 6年 3月26日 午後 3時50分閉会		
場 所	各種委員会室		
出席者数	委員10名中10名出席		
出席人員	西股 裕司	家塚 雅人	湯本 要
	星 真希	熊木 恵子	佐藤 妙子
	細川美喜男	加藤 真悟	石川 康弘
	高橋 修平		
上記以外の出席者	側瀬 議長		
欠席人員			
説明のため出席した者			
付議事件	【報告事項】 ①総務常任委員会 ②産業経済常任委員会 ③議会運営委員会 ④広報特別委員会 ⑤一部事務組合 ・長幌上水道企業団議会 ・南空知公衆衛生組合議会 ・南空知葬斎組合議会 ・南空知消防組合議会 【協議事項】 (1) 分科会について（自由討議班編成・協議内容） (2) その他（視察研修・多良木町訪問）		
傍聴者	0名		
会議の概要	別紙のとおり		

上記記録は事実と相違ないので署名する。

令和 年 月 日

南幌町議会まちづくり特別委員長

第 1 1 回南幌町議会まちづくり特別委員会会議録

(R6. 3. 26 13 : 30～15 : 50)

局長 ただいまより第 1 1 回南幌町議会まちづくり特別委員会を始めてまいります。開会に当たりまして、西股委員長から御挨拶をお願いします。

西股委員長 皆さんこんにちは。今日、議運の方は朝からずっと会議を開催しておりますので、その間来ていただいているということで、本日最後の会議でございます。一生懸命また意見を出していただきたいなというふうに思います。やっと暖かくなってきてまして、農家のほうもかなり忙しくなり始めたのかなというような時候になってきております。そんな中で開催ということですが、今回をもちまして梶田主査は異動のため、最後のまちづくり特別委員会への参加となります。次の場所に行かれても頑張ってくださいなと思います。次の時には富木係長がこちらのほうにまいりますので、その中でまた進めるというような形になります。

それでは本特別委員会は本日 1 日間の日程で行います。委員各位に申し上げます。発言を行う場合には挙手をして、委員長の許可を受けてから発言してください。質問は要点を簡潔明瞭に発言してください。また、私語は慎むようお願いいたします。なお効率的な議事の運営に努めてまいりますので、委員各位におきましても御協力をお願いいたします。傍聴者はいないので、割愛させていただきます。

本日の出席人員は 1 0 名です。なお議長も出席していただいております。直ちに会議を開会いたします。

【報告事項】

西股委員長 それでは報告事項ということで、1 番目に総務委員会のほうから、議会報告懇談会についての委員会の協議の結果と、5 年度、6 年度の事業の計画ということで随時発表していただきたいなと思います。

熊木委員 横書きのものと縦書き 1 枚の資料が出してあります。それで、議会報告懇談会の意見については、3 月 2 1 日の総務常任委員会所管事務調査の中で議論しました。項目が 1 番から 7 番まであったんですけども、原課のほうに話を通してあります。それで、特に報告するということはあまりないかなと思うんですけども、例えば通学路の街灯を増設してほしいという意見については、中央公園の中の街路灯の工事ということで今年の予算にも組み込まれているということなので、その辺は原課で確認してきました。

西股委員長 今、総務の関係で発表があったわけですが、事業の計画はいかがですか。

熊木委員 3 月 2 1 日の所管調査の中では、先ほど言った懇談会のことを話し合っ、そのあとにもう一つの議題として、選挙管理委員会の事務局ということで総務課から職員に来ていただいて、選挙の投票率が低下しているということをどのように捉えているのかということで意見交換をしました。それで、議会のほうは特別委員会の中でも議論してきていることなので、その辺をそれぞれ意見として伝えた

り、あとは協議の中ではなかなかこれといった決め手というか、これをしたから絶対投票率が上がるとか、そういうことがなかなかないというような意見もありました。ですが町民に啓蒙していくということがやはり大事だろうということや、あとは予算の中でも出されていて、投票所に行くのにあいる一とを活用してというようなことも案として出されていたので、要望としては、あいる一とを活用してその中で投票できるだとか、いろいろそういうことも選挙管理委員会を開いた時にぜひ検討してほしいということで意見を申し伝えました。

それから、令和5年度の事業と令和6年度に向けてということで話し合いました。審議結果というこのA4横書きの資料で、一応今まで取り組んだことを5点出してみました。その一つ一つについて議論していきました。それでその議論の中から、これは次年度も継続して取り組むことや、内容を一部簡略化してやっていくものなどに分けて話し合いました。まず高齢者のごみ出し支援策について、これについてはすごく何回も議論をしてきて、保健福祉課と懇談したり、それから道内の政務調査ということで、深川市に行く際に私たちも委員会としてもいろいろこういうことを聞いてこようとか、いろんな問題点なども探りあいながら行った経過があります。それから何度か話し合う中で、今の南幌町の実態はどうなのかという話の中から、保健福祉課のほうで取ったアンケート、ニーズ調査を基に検討もしました。それで、なかなか実態をつかめないの、介護保険などを使っている人は割とその声が届くけれども、その狭間にいる人の声を聞くことができないということで、総務委員会としても何か手がないだろうかということで話し合った結果、まずは地域に出向いていこうということで、鶴城のカフェサロンを訪問していろいろ懇談して、その後もスタッフの方と懇談しました。その中では、それぞれが抱えている問題だとか、こうしてほしいという要望も聞くことができたので、引き続き次年度についても社会福祉協議会とか保健福祉課との懇談も重ねていこうということで話がまとまりました。

それから、次ページの空き地の雑草調査です。これについても前年度からの持ち越し事項でありましたので、これも協議してきました。雑草の繁茂状況は住民課と一緒に相談もしながら、いつもは7月の初めくらいだったのが今回は7月の下旬になったんですが、住民課の職員とともに、総務委員全員と一緒に現地調査をしました。それから2回目については10月13日、その時は正副委員長だけでいいのではないかということで、調査をしてそれを委員会に報告という形にしています。苦情の件数が減少しているという所がありますけれども、新たになかなか連絡の取れない所も微増しているということで、これからやはり状況を見ていかなければならないという話になりました。次年度については、今までのように春と秋に全員で行くような現地調査ではなくて、状況を見ながらまずは正副委員長が視察、報告して、それから秋の状況については担当課から報告を受けるということにしてはどうかということになりました。

次のページは、町営プール・スポーツセンターの改修視察、その他のところで全く別のことなんですけれども、紙おむつの調査ということで、ここは2点挙げております。プールの採暖室がどうなっているのかということもあって、視察をしまし

た。その時は温度管理のために補助暖房を使用しているということで、常に温度を見ながらやっているということでした。また、スポーツセンターの主な改修工事の内容について、現地を見ながら説明をしてもらいました。今後の課題としては、スポーツセンターのほうはもう工事が終わっているんですけども、引き続き見ていくということになりました。

それと保育園・認定こども園の紙おむつの持ち帰りについてということで、委員の中からどうなっているのかという意見が出されましたので、保健福祉課に話を聞いてきました。それで、保健福祉課からの回答は、いちい保育園では有料で実施しているということと、認定こども園は未実施ということでした。これも今回の一般質問の中でもありましたけれども、保護者の実態とかその辺の意見などもまた聞いた上で、委員会としても見守っていくということで、特別この点だけを取り出して次年度の計画にということではないんですけども、福祉とかそういう全般について話し合っていこうということになりました。

それから次は、小中一貫教育、その他についてです。小中一貫教育の進捗状況について、9月14日に正副委員長で生涯学習課と懇談をしました。小中分離型一貫校としてできるところから進めていくということでした。また、部活の地域移行についても懇談しました。道教委の方針がまだ決まっていないということもあって、どのようにするかという方向性が定まっていないということでしたけれども、単独で中学校は中学校で一つのチームをつくるという部分が、どこの町もそうなんですけれどもできなくなっているというところで、混合チームとかそういう形になっているようです。柔道部については地域のクラブチームとして中体連に出場しているということがあるので、モデルケースみたいな形で今後進めていくというような感じの話でした。生涯学習の状況についてということでは、いろいろコロナ禍で事業の参加人数が減少していて、それが今コロナがだんだん落ちついていっている中でも、やはり高齢化の問題もあって参加者が戻ってきていないというところで、今後対策をいろいろ検討しながら講じていくということでしたので、それを委員会としても見守っていきながら、また懇談などをしていきたいと考えました。それから文化協会の存続ということでは、太鼓の拓心会も参加者が本当に少なくなって、今後の存続が危惧されているという状況でした。これも議会としてそこに関わることとはなかなか難しいんですけども、やはりこういう問題があるというところは委員会の中でも話し合っていくことが必要ではないかということで、今後の方向については、引き続き担当課と懇談により問題解決に向けて協議するとしました。

それから最後のところです。児童生徒通学路調査について、これは通学路の安全性ということで、春の5月に下校時の児童生徒の見守り、スクールバスの状況、交通指導員への聞き取りなどを行いました。現地調査をした後に、生涯学習課と懇談し、いろいろ問題点の共有をしました。それから夕暮れ時の下校の安全性もやはり確認したほうがいいのではないかと意見が出されて、11月29日に調査しました。街路灯の照明が暗いのではないかとか、防犯カメラの設置が必要ではないかという意見も出されました。これについても担当課に意見は伝えています。あとは

除雪の関係で、今東町ですごく住宅が増えているというところで、除雪がどうなっているのかということと、通学路の変更などはしないのかということでも聞き取りをしています。ただ、今すぐ通学路を見直すだとか、そういう形にはなっていないということでした。また、スクールバスの関係で3台配車されていて、順次乗車するんですけども、小学校発のバスに乗っている児童が少なくて、まあ中学校に行き乗るんですけども、そういう部分で農村部だけではなくて、北町だとか西町とか、おおむね2キロで乗車できるんですけども、もう少しその枠を広げてというか、1.5キロくらいで乗れるようにするとか、そういう形で改善して、空いているバスに乗れるようにすることが必要ではないかということで、これは春も秋も申し入れというか、意見をいろいろ担当課に伝えたんですけども、なかなか急に増えた時に乗れませんと言うことはできないというようなことで、改善には至っていません。次年度どうするかという話し合いの時に、新しい年度になってから農村部では何号車には何人乗るといった細かい推計を出してもらって、その上でまた話し合っているという意見が出されたので、引き続き通学路の安全性については調査していこうということになりました。

そして今報告したように、その話をしながら次年度の継続事項と、さらに進めていくことを申し合いました。まだその計画で、1番が何、2番が何というようにはなっていないんですけども、総務の所管である教育とか病院だとか福祉だとか、いろんなことを今回まだ全部はできていないので、その辺はきちんと計画を立てながら進めていきたいと思っています。その中で意見が出されたのは、各団体との懇談ということで、なかなか各団体もコロナでなかなか集まっていないということもありますので、その辺の様子を見ながらできるところからしていきたいということとか、あとはぽろろの郷土資料室も、中を視察してどのようになっているのかということも見ようということになっていたんですけども、なかなか実施できなかったもので、郷土資料室の視察と、それから防災備蓄品の点検とか視察、それからまちカフェとか視察研修などについても意見を出し合ったんですけども、まだこれは今後具体化していくというところですよ。以上です。

西股委員長 ありがとうございます。この総務の関係について、何かご意見等ありませんか。

高橋委員 ちょっと基本的なところで申し訳ありません。文化協会と拓心会は具体的にどういう会なのかを全然知らなくて、お教えいただけますか。

熊木委員 南幌町の文化協会は、民謡だとか踊りだとか、そういう方々が集まって文化協会をつくっているんですよ。けれども年々やはり参加者が少なくなっているというので、文化協会そのものが今後どうなるのかというようなことがあります。それから拓心会というのは、南幌太鼓とあって、和太鼓をやっているグループなんですよ。それが昨年調査した時は、会員が今は1人しか残っていないということでした。

西股委員長 ほかに何かありますか。

側瀬議長 拓心会のことはよくわかるんですけど、やはり今までもまだまだ残さなければならぬことがあった流れの中で申し入れもしているんですけど、やはり教え

る人もいるんだけどなかなかやらなくなったというか、もうみんなから寄附を集めて太鼓も揃えたんだけど、本当に残念だけどその中でどれだけ教育委員会がやってくれるか。議会がやるとしたら、自分たちが高橋君を先頭に、そういうこともやらなければだめなんだって。自分がやらないで人にやれという話にはならないので、本来からいえばそういうことなのかなと。

それと雑草の繁茂については7月の中過ぎ、ちょうど草が伸びてくる時にもし可能だったら見てもらえば。そこで見ておけば、多分お盆までに刈る、刈らないも全部わかるので、もしできるのであればほかの委員さんも手分けしてさっと状態を見てもらえれば。自分も何とか1か月に1回ぐらいは不審者みたいに歩いているんだけど。これも議員としての役目なので、それぞれ町の状態も意外に目につくことがたくさんあるから。河川を見たりとか農家の部分とか人の跡地だとか、そういうのを見たら意外に気づくことがたくさんあるので。そういうのはやはり議員自らの足で視察してくれれば、いろんなことが見えてくるんじゃないのかなと。意外に人に言われると勘違いしている部分がたくさんあるかもしれないけど、大分河川関係もきれいになってきたのでそういう部分も見たいし、あとは特に南幌温泉の周りは議員各位が見てもらいたいなと思っています。そんなところです。

熊木委員 今議長からアドバイスをいただいたので、それをまた委員会の中でも協議していきたいと思います。

西股委員長 私のほうからも、このまとめの関係とあわせて後日改めて打ち合わせさせていただきたいと思います。そういうことでよろしくお願ひしたいと思ひます。続きまして産経のほうお願ひします。

石川委員 まず、議会報告懇談会の審議結果です。議会報告懇談会の中では産業経済常任委員会へ13点の質問ないしご意見がありました。一つ一つ洗っていくと結構時間がかかるので、その中で我々として取り上げるものだけを申し上げたいと思ひます。まず一つは、準工業団地に誘致する企業に高齢者の雇用を促進してほしいというご意見がございました。これにつきましては、まだ分譲が再来年ということもありますし、企業がまずほどれだけ入るかということもあるんですけれども、とりあえずその意向については担当のまちづくり課のほうに伝えるということで、要望として受けさせていただきました。それからバスの減便に関して、運転手不足と承知しているが不安である、対応を検討してほしい。それから公共交通の利便性を町民に伝え、利用を増やすことも必要ではないか。また、ライドシェアについても考えてほしいという、3つの交通に関するご意見というか、ご要望がございました。これに関しましてはまとめて交通ということで、これから次年度以降について産業経済常任委員会としましても検討していきたいと思ひております。公共交通の利便性うんぬんもそうですけれども、エスコンフィールドに行くのに、日ハムの応援につながるようにJRバスを使うというようなことも必要ではないかというご意見もありました。それからもう一つが、ハザードマップの避難経路、それから水の影響がない道路を利用できるように掲載してほしいということで、来年度は洪水ハザードマップを作成するというようになっておりますけれども、その中で道路が冠水しては避難できるような状況にないというご意見があったわけですが、それ

に対しましても、マップ作成に向けて原課のほうに伝えていくということでありませす。ただ、これは防災ですので担当としては総務になるのかなというような形ではありませす。産業経済常任委員会としましては、以上でありませす。

続きまして、ホチキス留めの資料の、産業経済常任委員会の昨年の審議結果についてのお話をさせていただきたいと思ひませす。産経としましては、約5点について審議してきてということ、それをまとめさせていただきました。まず一つは、南幌温泉の改修工事です。これは6月13日に全員協議会の中で担当課から説明を受けまして、それについて議員全員で質疑をしたということでありませす。その後6月22日にまちづくり特別委員会の中で再度意見を出していただき、その中で温泉施設及びキャンプ場についてのご意見として、いろいろ意見が出たということ、改修内容、それから専用サウナの是非、キャンプ場の概要とブームの行方、それから露天風呂や集客稼働率向上の可能性などについてのご意見が出たということでありませす。そして、それを基にしまして7月7日に正副委員長で担当課の産業振興課と懇談いたしました。改修内容と周辺整備についての協議でありませす。それを基にしまして、7月13日に委員会を開き、懇談結果の説明をしたところでありませす。キャンプ場のエリア、それからふきの塔の解体の件、ライディングパークとの連携はないということ、新設サウナ設置の理由、サウナは安価なロウリュ式を採用する、キャンプ場・サウナは流行に遅れているのではないかと、それから現有キャンプ場との連携が必要だというような、様々のご意見が出たところでありませす。

それから2番目に、室内遊戯施設はれっぱについての協議を行いました。6月22日、まちづくり特別委員会の中でその審議が行われ、その意見をまとめて、その後産経のほうで審議したところござひませす。利用料金に障がい者割引が必要ではないかと、経済効果を調査してはどうか、利用者は町内客が少ない、中央公園に高齢者遊具の設置もということ、様々のご意見がござひませす。そういった意見を基にしまして、8月3日に同じく正副委員長でまちづくり課と懇談したところござひませす。その懇談結果を基にしまして、8月10日に委員会を開きました。利用者数の数え方は、ドトールの売り上げの販売数が一つのベースになっているとか、リピーター数は係員が判断している、障がい者には手帳提示で減免対応している、遊具の苦情はその都度対応している、来場者の85%が町外客、来場者は平日400人で、土日は1,200人来ている、パスポートの販売数はその段階では200枚未満であるということ、来場者数の割にはパスポートの販売数が少ないのではないかとというようなご意見がござひませす。

次に3番目、あいる一と、公共交通についてです。これも6月22日にまちづくり特別委員会の中で出された意見を協議いたしました。その中で出たこととしましては、あいる一との回数券を発行してほしい、アンケートの集計結果はいつ出るのか、乗車料金の値下げをして経済効果のアップを、などの意見が出たところでありませす。それを基にしまして、8月3日に正副委員長でまちづくり課担当者と懇談したところござひませす。それを基にしまして8月10日に委員会を開き、懇談結果を説明いたしました。利用者アンケートは広報8月号で公表する、運行時間・営業日の見直

しは委託業者の都合があり難しい、それから回数券発行は考えるということ、栗高の通学は栗山町が検討している、あいるーと回数券の実現性についてもいろいろ話し合いました。アンケートの取り扱い、相乗りの状況、WAONカードの利用状況、そして料金のあり方などについていろいろ意見が出されたので、それを委員へ説明したところであります。

次のページに行きまして、4番の商工会についてです。これは6月22日、産業経済常任委員会の所管事務調査ということで、委員会の中で話し合いました。はれっば客と商店街の経済効果についてという一つのテーマがあったことから、町外客の集客のために商店街はどのような取組を行っているか、観光施設の連携、それから商工会との懇談会の実施についても話し合ったところです。7月7日、町側のほうの取組を聞くために、正副委員長でまちづくり課と懇談をいたしました。それを基にしまして、委員会で再度意見を聴取したところです。はれっば客の誘導にデジタルサイネージで店を紹介している、それから休日開業する店は限られている、空き店舗活用補助制度ははれっばの影響で開業間い合わせが増えているが、あっせん業者の家賃が高い、それからビューローは子ども向け席を配備している、休日営業は商店個々の判断に委ねるしかない、また、ラーメン街道の各店は好評である、デジタルサイネージで細かな写真で店内を紹介しているというようなことを担当課のほうから聞いたところであります。そして次に11月22日、商工会の令和6年度の補助要望書が出されまして、それについて審議いたしました。主なものとしましては、ふれあいまつりの花火大会に80万円、またプレミアム商品券・お年玉抽せん券を発行するんだということです。それから事業継承者に地域おこし協力隊を入れてほしい、小規模企業振興に関する条例制定の検討ということで、それぞれ商工会の要望書について委員会の中で検討したところであります。その後12月7日、今度は商工会との意見交換ということで商工会館に出向きまして、商工会役員9名、それから事務局2名と懇談会を開きました。そこで出されたものとしましては、商工会の意見として、飲食店客は今減ってきている、ハイヤー営業が夜8時まででは生活が不便である、後継者のいない店が多い、はれっばの来場者は小上がり個室の店を望んでいる、それから空き店舗は高い家賃で入居者がいないといったことが出されました。次のページに行きまして、それを基にしまして、1月23日に委員会の中でそれを再検討したところであります。出された意見としまして、空き店舗活用事業等で新規店舗出店に町は協力をしてほしい、また住宅と同一店舗は貸し出しにくいのではないか、それから空き店舗活用事業継続に後押しする事業を行うべきではないかという意見が出されたところであります。そこで3月7日、委員長の私が町長に代表質問したという流れになっております。空き店舗活用事業だけではなく、事業継承助成や起業者助成などに取り組んでほしいだとか、中央通り商店街を賑やかな商店街にしてほしいなどといった一般質問を行ったところであります。

最後に農業関係につきまして、まずは9月4日に、例年行っております農業委員会と合同での現地の作況調査に参加したところであります。町内の農地での作物の現地調査を行いまして、その中で出されたいろんな意見も聞き取りながら帰って

きたところでした。内容としましては、農業改良普及員からの説明で、今年の稲の生育状況と作況、大豆の生育と作況、キャベツの生育と収量の3点について説明を受けたところでありました。その後、10月2日に委員会で集まりまして、水田活用直接支払い交付金というものがあまして、その要件が変更になったということで、これは農業委員会との現地調査の中でも出されたことだったんですけども、それについて再度皆さんで勉強会ということではないですけども、私のほうからその要件変更について農家がどれだけ影響を受けているかということの説明を行いました。農協の担当者から改めて説明を受け、それを皆さんに報告したところでありました。内容としましては、交付金削減の経緯、本町の転作率の状況、要件変更の内容、それから農業者の影響ということで、これは説明すると長くなるので言いませんが、そんな話を委員会の中でお話ししたところでありました。これにつきましては特に質問はなかったというところでありました。以上、審議結果については説明を終わります。

続きまして、来年度に向けての話です。実は先日の19日に委員会を開きまして、今のことについては一連お話ししたんですけども、来年度の調査項目についてはペーパーがありませんので、口頭で話させていただきます。皆さんに令和6年度についてはどんな調査をしたらいいかという話をしたところ、まずは来年度実施する温泉の改修事業に対して、職員の休業補償についてはどうなのかを確認すべきではないかとか、工事期間の精査、それから工事の業者についてもとりあえず調べる必要があるのではないかと。また、キャンプ場の整備についても状況を見ながら調査するべきではないかという意見が出ましたが、町の進め具合も見ながらやるということで、様子見ということで留めました。次に、農協役員との懇談会ということで、5年度は商工会と懇談をしたんですけども、6年度はこれから交渉になりますが、農協役員との懇談会を6月ぐらいにやるということで一応考えております。それとは別々については、20万人近く入ったということで今年度は状況がよくなったんですけども、2年目の令和6年度についてはどうなるかということで、入場者数だとか運営についての動向を調査していくという考えであります。また、移住体験住宅を通じて移住につながった実績の調査ということで、移住体験住宅の調査をするということで考えていました。さらに古民家の状況調査ということで、今古民家カフェができましたけども、それ以外にも古民家はまだあるのではないのかということで、そういったことも調べてみようという話になりました。それから路線バスの調査、特に中央バスによる高速バスが、10月からゆうばり号がなくなるという話がありますけども、その路線もそうですし、それとあいる一とから乗るお客さんの状況などについても調査していこうというような話であります。これと少し前後しますけども、来月4月に夕張太地区の地域の今後を考える会ということで、夕西団地の用地についていろいろ地元の方々が勉強しているということでありまして、その話を一緒に聞いて、勉強会に参加するというので来月21日に予定しているところでありました。以上です。

西股委員長 今の件について質問ありませんか。

家塚委員 1点お伺いしたい部分があって、商工会の要望書の中に小規模企業振

興に関する条例の制定について検討してくれということによって上がってきたんだろうと思うのですが、その辺の検討はどういう形で進めているのかをお願いしたいと思います。

石川委員 これにつきましては、その段階では特に検討はしていませんでしたが、これは次年度に向けてまた検討していこうというように思っております。ちょっと次年度の項目の中には漏れていましたけども、これは継続してやっていくような形で考えております。

西股委員長 けども商工会から産経のほうに話がいっている内容なので、懇談会をやった時にそういう話がありましたよということは産業振興課のほうに伝えてあるんですね。

石川委員 それは産業振興課にも要望書がいっているのでも伝えていませんが、これから調査していくのでその段階で話はしておきます。

西股委員長 町は少し違う考えを持っているので、その辺は先に聞いておいたほうが良いと思います。議長からは何かありますか。

側瀬議長 議会で条例をつくれということをおっしゃっているんだから、ふさわしいかどうかというのは、ただ要望して条例をつくる気があるのかではなくて、やはりその辺は真剣に対応しないと、ほかのことよりも大事だと思うので。

あとははれっばもいよいよ2年目ということで、多分わるい予想をしたら少し減っていくんじゃないのかなと。大体3,000万円くらいはこれからまだお金が必要じゃないかなという気はするんだよね。そんなことになれば、単純に住民割したら1人当たり生まれた子どもから3,500円とかそれ以上の金額負担になるから。それだけの効果をやはり出してもらわなければいけないし、ただ人を集めてよかったねという話にはならないということだけは、やはり賛成した議員として責任を持って町民に言わなければならないことだと思っているから。その辺について、どちらにしてもこれだけの負担で終われば良いんだけど、やはりこれからまた遊具をもっといいものにしたいとか、まだまだお金がかかってくるから、その辺のこともきちんと止めるところは止める、やはり何でもやれば良いという話にはならないようにだけしていかなければ、ちょっと問題があるのかなと。

それとここが一番大事なんだけど、農業のほうでうちの町はよその町より一生懸命予算をみているんだけど、農協自体がどうなんだということが一番問題だと思うんだよね。やはりあれだけの農協職員が南幌町に住まない理由、これはあまり言えたことじゃないんだけど、やはりそれが大きな問題じゃないのかなと。やはりそこからいかないと、これだけよそから来てもらって、大事な第一次産業の人間がこちらを向いていない、ここに住まないという話には、社長は置いておいて、従業員はほかでという話は本来からいけばおかしいんじゃないかなとずっと思っていたんだけど。放っておいたらもう全部よその町に住んでしまうから。あれだけの人間が税金を納めたり、あとは交付税の分とかを考えたら、うちの町にどれだけの分が入るのかと。まして町民には言えないけど、固定資産税を完全に免除している部分もあるとなったら、やはりそういうところで共にやるのなら考えてもらわなかったら、うちに住んでいない人間のために何でやるんだという話になるからね。そしてます

まず農家戸数は減っていくわけだから、だから今まともに話すんだったら農協より法人と話したほうがいいような気がするんだよね。そして燃料が高いと言いながら、逆に言ったらほかの人に売っている金額と組合員に対しても同じ金額って、そういうパフォーマンスもできない農協もどうなんだというのがあるから。そして町にだけ補填してくれという話は、もうそろそろ考えてうまくやってほしいなというのが、うちらも力になれるなというのがあるんだよね。だからその辺のこともあって、本当は早く懇談会をしてほしかったので。こういう嫌なこともちょっと言っ
て、お互いにまちづくりのために協力して、町で1番大きい会社なんだから。元は消防団員までいたんだけど、あれだけの施設を持ってそれすら協力してこないとい
ったら、ただ何か納得いかないんだけど。そういうことも、逆に聞くだけではなくて議会として提起することも必要じゃないかと。これはお願いだから、無理やりしろという話ではないので、もう早急に懇談会をやってくれないかと自分は思っているんだよね。何でこんなことを言うかといったら、5日に中学校の入学式があるから、本当は通常総会で話そうと思ったんだけど、話す機会がないものだから。このことを組合員の前で言ったらどんなことになるかわからないけど、自分は嫌われてもいいし間違ったことは言っていないつもりなんだよね。その辺もやはり産経で聞くだけではなくて、お願いすることはお願いしなければならないと自分は思っている
ので、それも大きく頑張ってやってほしいなと。やはり議会は聞く側ではなくて、お願いする側にもいかないと。

西股委員長 これはもう一度全ての項目のポイントを洗い直して、そしてこの中で何をということをもう少しきちんと詳しく箇条書きなり何なりして、やる目的をはっきりさせていかないと。だから今言われた商工の関係の中小企業の条例の関係も、やはりきちんとどういうふうにできるかということはやっていかねばならないだろうし。

側瀬議長 本当に商工会も言っていることは正しいんだけど、懇談会に出ていない人もいるから言うけど、少し気に障ったのはプレミアム商品券のこと。これは町につくってくれだからね。そのお金を利用して最後の歳末の商品にも出すって、それは違うんじゃないかと。何でもかんでも町でという話にはならないし、それなら商工会も通常のコレは何か%引きにするから、そして一緒になってやるというんだたらうちらも応援してあげたいけど、ただよこせて。そしてそのついでに商品もって、それも公平性から見たら、議員としては公平公正じゃないといけないから
ね。それを出すお金の中から誰かに5万円なら5万円行くという話に、議員として助成なんか出せるわけがないからね。使い道が自分たちで出しているお金の中でやるんだたらそれは頑張ってやってくださいと言えるんだけど、何かこの間はそういう話のほうが多かったら少し話をさせてもらったけど。やはりそのプレミアム商品券を買えない人もいるわけだから、その人を置き去りにしていいのかという話になったらちょっと違うんじゃないかと。これも自分しか言わなかったんだけど、やはりはっきり議員も行った時に言わなかったらと思って、ちょっと商工会もおかしくないかという意見を言わせてもらったんだよね。やはり議員として公正公平でなければいけないから、これを原点にいかないと。

だからもう農業だって住民の人口比率からいったら遥かにもう負けているわけだから。この間ちょっと事務局と話して、令和5年度の財政比率の中で15%くらいだったんだけど、今年は11%くらいだよ。どこが違うんだといった時に、やはりただ工事で、川向の柵渠が大きな部分で、それが占めているから。だからといっても本来の農家に使われる金額というのはあまり変わっていないから、他の町より多いと思うんだよ。普通だったら7、8%だけど、やはり町が庇わなかったら農協もそういうものが全然ね。だからその辺もそうならば農協に何だかんだとは言えないけども、やはり少なくともいろんな形で協力してもらわないと、住んでもらうだけでも固定資産税は入ってくるわけだから。そんなにこの町が嫌だったらよその町に勤めてもらったほうがいいと自分は思っているの。

西股委員長 ということ、ちょっと産経の今後の部分はもう一度委員会を開いてということをお願いしたいと思います。

細川委員 質問というか確認なんですけれども、今回稲穂地区の方と懇談会をするということで今説明がありました、前の時に総務で出したカフェサロンの懇談会については広報で考えてくださいということで話があったんですけれども、今回のものは議会の懇談会としてやるのでしょうか。

西股委員長 要請に基づいて来てほしいというから行くだけの話です。

細川委員 何を言いたかったかという、議会の中の規約の中に、5人以上であれば懇談会を受け入れますよというのがあって、それに該当するのであれば規約のとおり報告書をつくっておいてもらいたいなど。やはり1回は1回で数に入れたほうがいいのではないかと思うんですよ。

西股委員長 こちらはちょっと趣旨が違うと思いますがね。

細川委員 懇談会という言い方をしているということだから、ただその割り振りが私のほうではわからなくて。やっていただくのは全然構わないのですが、やはり報告書なりをつくっておいてもらって、懇談会として1回なら1回の中に入っていただくほうがいいのかなと。今後そういうふうに各委員会で懇談をすることがあるのであれば、そういうふうに統一してもらったほうがいいのかなと思ったんですよ。回数だけは回数の中に入れてしまうと。担当するのは産経でいいんですけれども、総務のほうもそのつもりでカフェサロンを総務でやるとなったら、前にそれは広報でやるべきだという話もあって、その辺の区分けがわからなかったものですから、ちょっと確認だけしたいということでした。

側瀬議長 カフェサロンはもう少し大きくやるか、先ほどの議運の中でも話したんだけど、総務は総務でカフェサロンはカフェサロンでそれではいいんだけど、やはり今の懇談会形式をどうやって変えるかとなったら、カフェサロンもいいんじゃないのかという話が出たから。そちらの話はこれからの話だから。

西股委員長 それともう一つあるんだけど、こちらから働きかけて開いていく部分の懇談会ということになってくるとそういうような形もいいのかなと思うんだけど、今回は要請に基づいて行くような形になるので、報告書をつくったりということはいいいんだけど、ちょっと今までの部分とは流れが違うということだけ受け止めておいてください。

細川委員 議会懇談会の規定に一応合致してしまうので、やはり数の中には入れたほうがいいと思うんですね。

西股委員長 いや、入れるのは入れるのですが、ただ、今までのやり方はこちらから声をかけて行くようなものが懇談会の形で行っているんだけど、今回は要請に基づいて行くんだということを頭に入れておいてほしいという話です。

細川委員 5人のほうも要請に基づいてやる懇談会なので、そこは同じ考え方なので一応確認のために聞きました。

側瀬議長 向こうから要請が来て、あとは担当が産経だからって自分が振っただけの話だから。だから終わった後の報告はさせてもらわなければならないので。だから、そのトータルで懇談会の中には入れて結構なので。そういうふうにはちょっと臨機応変にいかないと。

西股委員長 では、以上でよろしいですか。まだ何かあれば。

側瀬議長 石川委員に言うけど、勉強会ではなくて懇談だから。一緒に勉強したら物事を一緒にやっていかなければならなくなるから、それは違うので。

西股委員長 では、ほかによろしければ議運のほうお願いします。

佐藤委員 午前中に議運を開きまして、協議いたしました。まず議会報告懇談会なんですけど、総括の中の13番と16番が議会運営委員会の対象の内容となっております。その中で、まず13番の議会改革ではどのようなことを考えているのかという意見がありました。その中で、評価提言者制度を設けて議会の評価をしているということと、まちづくり特別委員会を活性化している、また議会定数・報酬についての協議もしている、議会のデジタル化に向けても協議をしているということで、議会改革に向けてやっているという話になりました。それと16番の議員のなり手不足について、現職議員が後継者を育て受け継いでいくとよいという意見もあったんですけど、議運の中ではその地域によってつながり方が昔とはだんだん違ってきているということで、それぞれの議員は次の後継者ということで努力はしているし、今後も続けていくというお話もありました。

次に、令和5年度の結果なんですけれども、お手元の資料なんですけど、ちょっと中途半端になってしまっていて申し訳ないんですけど、不足の部分は口頭で説明させていただきます。議会運営委員会の令和5年度の事業報告で、まず議会評価提言者についてです。令和5年5月9日に評価提言者の募集の仕方、また定員、任期などを決め、職務内容等も検討いたしました。その内容としては、議会だよりへの募集掲載をし、定員を10人以内とする、また任期を2年として、報酬・職務内容は前年同様とする、参加は本会議、委員長許可の委員会、議会報告会懇談会等であります。それで、7月6日に評価シートの改正案を考えまして、見直し部分などを協議いたしました。9月4日にも評価シートについて議論いたしまして、9月28日に議会評価提言者の委嘱状交付と第1回の評価提言者会議を開きまして、この日は自由闊達な意見交換をいたしました。10月20日と12月5日には評価シートの継続審議ということで、これまでのシートの継続審議をいたしました。それで12月5日については、ちょっと項目が違いますが議員定数・議員報酬について審議いたしました。それで議運としても協議したんですけど、このことに関しては

継続して審議していくということになりました。それと令和6年1月19日については、皆さんのほうから評価シートを出すに向けて、新たなシートに対するいろいろな審議をさせていただきまして、また議員定数・議員報酬につきましても審議を進めさせていただきしました。

それとは別に、議会基本条例については令和5年6月16日に、議会基本条例の改正部分とまた新たな部分ということで協議をいたしました。ちょっとまだきちんとした形で書かれていないので、後ほどきちんとした形で完成させたいと思っております。

それと、令和6年度の事業計画なんですが、これについては資料がないので口頭で述べさせていただきます。本日午前中の議運の中で、皆さんから出していただきました評価シートの協議をいたしました。いろいろな形で皆さんのほうから意見をいただきました。議員分と評価提言者分を両方協議させていただいたんですけども、今度は西股委員長とご相談させていただきたいなと思うんですが、その結果をまとめた評価シートを、まちづくり特別委員会で議員全体で協議していきたいということです。その協議したものを受けて、評価提言者と議員全員でまた懇談会をしていこうと思っております。それで、来年の2月か3月に向けて、また次の評価提言者との懇談会もしていきたいと思っております。それとは別に、また議員定数・議員報酬についても継続協議していきたいと思っております。アンケート調査などもございますので、それを基に継続して行っていきたいなと思っております。また、議員研修も今期していきたいなと思っております。ちょっと簡単なんですけれども、以上です。

西股委員長 今、議運のほうから説明があったのですが、何かありますか。4月に今まち特をやろうとしているんですが、その時にはかけられるような状況になるんですか。

佐藤委員 それまでにつくります。

西股委員長 会議が1回になるか2回になるか。だからそれが間に合わないんだったら5月でもいいですし。

佐藤委員 少し協議させてください。

西股委員長 ほかに何か質問ありませんか。

側瀬議長 どちらにしても評価提言者は2年ということだから、それなりにやはり評価提言者の皆さん方から評価を受けながら、あとはいろいろ見せてもらったけども、その辺の整合性をちゃんとして、そしてあとは優先順位を決めて物事を進めていったらいいのかなと。あまり高望みしないで、しっかりと議員らしくやれるような形の中でみんなから提起してもらって、簡単なものから進めていきたいと思っています。

西股委員長 ということで、よろしいでしょうか。(はいの声)

では次に移ります。広報委員会のほうお願いします。

細川委員 議会広報特別委員会から報告いたします。まず、配付しております南幌町議会報告懇談会の総括という書類と、アンケートの集約を見ながら説明したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。まず、議会報告懇談会の総括という

ことで、開催日時は令和6年2月23日金曜日の祝日ということで、午後2時から午後4時30分まで行っております。開催場所はあいくるホールで、2番の参加者は、議員は11名全員出席、事務局は2名、町民15名ということで男性7名、女性8名で行っております。3番目の懇談会の開催方法なんですけれども、分散型の懇談会ということで、1班はあいくるホール、2班は2階会議室ということで行っております。4番の懇談内容ですけれども、1班は町民8名の方と5名の議員で懇談を行っております。懇談内容については省略させていただくんですけれども、全部で1班は16件の質問・意見がありました。2班につきましては、町民7名と議員が5名ということで行っております。なお、議長はその都度会場に行っていていただいているという形になっております。2班につきましては意見・質問が10件ということで、合計26件の意見・質問がありました。次のページのアンケートなんですけれども、アンケートにご協力いただいた方は参加者15名中回答者が12名ということで、まず1番目の性別なんですけれども男性7名、女性5名の方が回答していただいております。あなたの年齢はということで、40歳代が1名、60歳代が2名、70歳以上が9名ということになっております。3番目の議会に関心がありますかということで、あるという方が7名、少しあるが1名、普通が3名、あまりないという方が1名でした。4番目の、議会の活動や情報をどのように取得していますかということで、これは複数回答なんですけれども、本会議等の傍聴という方が4名、新聞が1名、議会のホームページが2名、議会報告懇談会が4名、議会だよりが9名、その他が2名ということで、その他の方は新聞折込や委員会の傍聴ということで答えているようです。5番目の改善すべき点、議会の活動を町民に知ってもらうための方法ということで、自由記載でしたけれども、まず1点目が、今回の懇談会の方式は各自の話を聞ける機会となりよかったです。2点目は、議会開催の無線放送は補正予算などの項目のみでやむを得ないが、もう少し説明があれば傍聴者が増えるのでは。3点目、町内放送されているので助かります。4点目、グループでの話し合いがとてもよかったです。いろいろお話を聞いていただきありがとうございました。6番目の、議会や町についてのご意見ということで、まず1点目に、持続可能なまちづくりを真剣に考えてほしい。2点目、町政の推進について検討され実質展開されているが、町民への説明は施策・実行経過も含めて行われたほうが理解されやすいのでは。3点目、除雪作業をしている際に路駐して道路で雪をはねている住民がいる。安全に作業を円滑に終わらせるためにも住民に協力の周知を町からお願いしたい。4点目、議会の情報やアンケートなども南幌町のLINEなどに掲載して町民に認識してもらう形にしては。紙の削減になると思う。5点目、今日の話し合いはよかったですと思います。テーマ外のお話の広がりもよかったですというような意見をいただいております。一応こちらの懇談内容に載っている件数が知らされているものよりも数が多いんですけれども、こちらは事務局がレコーダーで聞き取ったものを書きいただいておりますので、これだけ出ているんだらうということでご理解いただきたいと思います。

続いて、議会広報特別委員会の議会報告懇談会の回答ということで、こちらのほうは、実は次の広報特別委員会の開催が3月28日ということで、まだ全員の委員

と話し合っていないんですけれども、今回お話するのは懇談会で出た広報に関する質問が1班のほうだったんですよね。そちらに私が出席していましたので、その時に答えた内容を報告したいと思います。まず1点目、議会だよりのイラストを使っているが、写真のほうが良いという意見がありました。回答としては、議会広報特別委員会でイラストを使用するということが決定していた関係もありまして、写真の使用については今後委員会で検討したいというように回答しております。2点目、議会だよりの広報が遅い。もっと早く出せないのかということです。回答としまして、議会だよりは年4回発行しています。3月、6月、9月、12月の議会定例会の内容を中心に発行しているので、編集作業や予算の関係もあり回数を増やすことは難しいと。なお、他市町村も年4回発行が多いので理解してほしいというようなことを説明しております。3点目、議会報告懇談会等は小まめに開催してほしい。回答として、現在懇談会の開催について検討しています。また、5人以上の個人及び団体の申し込みで懇談会を開催することができますので、議会事務局に申し込みをしていただきたいと思いますという説明をしております。4点目、議会だよりの発行に時間がかかるのであれば、議会通信のようなものを発行してはという問い合わせなんですけれども、これは細かいことを言うと、A4サイズ1枚の裏表でいいから、印刷して折込できないかというような内容でした。こちらにつきましては予算の関係もありますが、議会広報特別委員会で再度また検討したいということで回答しております。5点目、懇談会での意見等がどのように処理されたかわからなくなっている。議会だよりの紙面だけではなく言葉で伝えてほしい。回答としまして、今後議会広報特別委員会のほうで、言葉で伝える方法というものにはどういうものがあるのか検討していきたいというような回答をしております。以上が議会報告懇談会の回答です。

なお、次のもう1枚の紙なんですけれども、議会広報特別委員会の審議結果ということで、事業報告なんですけれども、これは広報特別委員会のほうには28日にお話ししようと思っていたんですが、広報特別委員会では各広報にあわせた委員会にあわせていろいろと審議をしております。まず、1回目の5月19日の広報特別委員会では、議会だよりの8月号の編集担当者の割り当て、編集の注意事項等の説明と、一般質問の議員紹介はイラスト使用ということで決定しております。表紙については、まち・ひと・しごとの継続で決定ということで、その時に個人ではなくグループや団体を紹介するというような申し合わせをしております。主な実施状況というところに書いてあるんですけれども、初めての委員会だったので議会だよりの編成について協議、説明しております。続いて6月30日は、8月号の編集校正と議会報告懇談会の開催方法についてということで、この時に以前行っていた議会報告懇談会について、新人の方が多かったので開催について説明をしております。そして3回目の議会広報特別委員会は7月14日で、この時は8月号の最終校正、それから議会報告懇談会の開催方法等についてということで、内容としては議会報告懇談会の開催について皆さんから提案をしてくださいということでこの時にお願いし、次回取りまとめ結果を報告するということになっております。4回目は、7月27日に議会報告懇談会の開催等について、それから議会デジタル化についてとい

うことで開催しております。委員会からの提案の議会報告懇談会の開催案の発表と、議会デジタル化の取組事例の説明ということで、特に議会デジタル化の取組は全国的に取り扱っているデジタル化の関係を説明してまいりました。第5回目は9月4日で、議会報告懇談会の開催について、全町の開催と東町・美園町内会との懇談会について協議し、それから議会デジタル化の本町の取組状況について説明をしております。議会だより11月号の編集担当者の割り当てもこの時に行っております。なお、この時に議会報告懇談会の開催は11月と2月の2回にしようということで協議しております。6回目は10月3日、議会だより11月号の校正と議会報告懇談会の開催についてということで協議しております。特に全町の開催方法と、東町・美園の懇談会についてどのようにやるかということで協議しております。第7回目は10月17日なんですけれども、議会だより11月号の最終校正と、議会報告懇談会の開催について、それから議会デジタル化についてということで開催しております。議会報告懇談会の開催につきましては、おおよその開催日について協議しております。デジタル化につきましては、この時はちょっと時間がなくて協議することができておりません。8回目の議会広報特別委員会は12月12日で、裏面になっているんですけども、新成人のアンケート調査についてということと、議会アンケート調査について、それと議会だより2月号の編集担当者の割り当てについて協議しております。それで、南幌町議会の二十歳のアンケート調査につきまして、内容について協議しております。議会だよりのアンケートにつきましては、西股副議長のほうから提案をいただいたアンケート調査の内容を配布しまして、今後協議をするということでお話はそこで終わっております。9回目の広報委員会では、1月11日に議会だより2月の編集校正、それから二十歳のアンケート調査について、それと議会報告懇談会の開催について話し合っております。この時に南幌町議会二十歳のアンケート調査の当日回答分の結果について報告しております。それから1月17日、10回目の委員会ですけれども、議会だよりの最終校正、議会だより5月号の編集担当者の割り当てについて、それから南幌町議会のアンケート調査についてということで行っております。南幌町議会のアンケート調査につきましては、実施方法、それから意見の集約の仕方等を協議したのですが、まだ結論が出ておらず、新年度のほうに持ち越したいと思っております。それから11回目の議会広報特別委員会は、先ほど言いましたように3月28日ということで、議会だより5月号の編集校正と、南幌町議会のアンケート調査について協議したいと考えております。なお、今回の私の反省なんですけれども、今年はなかなか日程が取れないものですから広報特別委員会にあわせてやっていたんですけども、これですと時間が足りませんので、今年の広報特別委員会は議会だよりのことだけではなく、別途協議を増やしていきたいと考えております。あと、今年の事業計画についてはまだ委員会をやっていませんので、今回はありませんのでよろしくお願いたします。

西股委員長 ということなんですけど、広報の関係についてご質問は。

高橋委員 議会報告懇談会のアンケートの集約の所なんですけど、6番の持続可能なまちづくりを真剣に考えてほしいというところの内容はこれだけですか。何か

具体的なことが書いてあって、これだけを抜粋して書いたという感じですか。

議会事務局主査 このままです。書いてあることが全てです。

高橋委員 わかりました。

細川委員 なお、今回の分散してやった形がやはり住民の方はとても話しやすかったということで好評をいただいているので、やはり全体でやるよりも分けてごらんまりとやったほうが話をしやすいのかなという感想を持っております。

側瀬議長 それはみんなの意見集約に対しては少ないほうがいいに決まっているんだけど、だから小さな分散の懇談会を増やしたほうがよっぽどいいのかなというのも、先ほど話したんだけど、本来はどんと来た時にああいうことはできないからね。そして大体来る人も決まってきたような感じだから、その辺もきちんと判断して懇談会を開かないと、なかなか手間取るような形になると思うので、その辺は広報委員会ですっかりまとめてほしいなと思います。

あとは成人式のアンケート調査は自分の思いでやってもらったんだけど、新しく成人になった人が町からいろんなことを尋ねられるというのは、やはり相当思いがいいのかなと思っているので。ただ、中身の精査をしてほしいなと。質問項目はもうこれをずっと続けるようにしていきたいと思っているから、項目はあまり変えたくないんだけど、1点だけ将来どうやっても無理な案件というのがあるよね。それは何かといたら地下鉄の関係。そういう質問を載せて何かあるのかと喜ばせるんじゃないくて、実際にもう少し利用しやすい交通体系のこととか、そういう文面だけ変えてくれればあとは変える必要はないのかなと。地下鉄がくるのかというスタイルになると、議会が嘘つきになるわけにはいかないから。だからやはり自分たちが逆に質問された時に説明できない分については、ちょっと現実味があるように考えてくれたほうがありがたいなと。

細川委員 すみません、追加で補足してもいいですか。先ほど説明が漏れていたんですけど、懇談会の関係で皆さんから提案していただいたことで、全部で8件くらい案が出ているんですね。これについては今回のカフェサロンのことも含めて、ほかのものも含めて、まとまりましたら皆さんのほうにまち特で報告したいと思えますので、よろしく願いいたします。

側瀬議長 あとは要望で、大きく広報担当でまちカフェをやってくれたらありがたいなと思うんだよね。そしてもう毎月何曜日の何時と決めて、そこに寄ってもらうように。そしてあとの大きい懇談会はまた別に考えて、そこまでやればいいかなとは思っているんだよね。大変だけど、その方がもう決まった月で議員が全員行くのではなくて、それが定着してくれば月2回とか、そういう時間帯も変えながらやるのがいいのかなというのが自分の意見なんだよね。あとはそんなものやってられないと言われたらそれで終わりなので。

西股委員長 そこらは何回か試験的にやりながらでいいと思います。

側瀬議長 いつも話している人は毎回来てくれると思うし。

西股委員長 では、以上でよろしいですか。(はいの声)

ではここで、3時5分まで休憩させていただきます。

(午後 2時55分)

(午後 3時05分)

【協議事項】

(1) 分科会について(自由討議班編成・協議内容)

西股委員長 休憩を閉じまして、会議を再開いたします。

それでは協議事項の1点目、分科会について、家塚さんお願いします。

家塚委員 それでは前に皆さんにお話しした分科会の関係で、班編成と協議内容についてご協議を申し上げます。まず班編成については3班編成として、当選回数、委員会の構成、それと役職等を考慮して案をつくらせていただきました。1班については、星議員、加藤議員、熊木議員の3名です。2班については、高橋議員、湯本議員、佐藤議員の3名です。3班が私家塚、それと細川議員、石川議員の3名です。副議長についてはフリーということで今考えています。ですので3名で3班ということですので、それで、この班編成については固定ではありません。来年委員会の改選もありますので、またその時にはその委員会構成をみながら班編成をしていくということになるかと思えます。それと、テーマによっては3人ずつではなく、例えば5人だとか、やっていくなかでそういう班編成も出てくるのかなということで、この辺も含みおきをお願いしたいと思います。それでこの班ごとに開催をしていただくのですが、それぞれの班で日程を調整していただいて、都合のつく日にやっていただくという考え方です。テーマは後ほどお話しさせていただきますが、そのテーマで討議していただいたことを次回のまちづくり特別委員会のほうで、口頭になるのか書面になるのか、それはそれぞれで結構だと思いますが、説明をしていただくということです。協議内容、テーマの内容ですが、いろいろあるかと思えます。私どもで今案として考えているのは、先ほども話が出た議会報告懇談会のあり方、これらのテーマで討議をしていただく。もう一つは、一般質問。それともう既に1回ずつ新しい議員も経験済みですが、決算審査特別委員会と予算審査特別委員会について、一般質問とあわせてこれらのあり方を討議していただく。大きく分けて、今私どもで考えているのは2つで、それ以外テーマがもしまたあれば出していただければなということをお願いをしたいと思います。最後になりますが、今日お話ししたことをまとめて、皆さんのほうにメールでお知らせをさせていただきたいなというふうに思っています。私のほうから以上です。

西股委員長 ありがとうございます。今一連で説明があったわけなんですけど、とりあえずのところ今の3人のグループの中で進めますよと。来年がどうこうということも言われたのですが、必要に応じて随時変化があるということで考えております。ですから1回目については試験的というか、様子を見ながら3人組になった中で、これらのテーマの中から一本選んでいただいて討議するというような内容で進めていきたいということなんです。そこらについての何か質問等があればお願いします。

側瀬議長 このことについてはいいんだけど、1点だけ。全員協議会が終わった後に、必ず自由討議をやりたいと。これは自分の仕切りでやらせてもらうので。そうしていかなければ、大事な案件はやはりそこで議論をして、町にしっかりと伝えていかなければならない責任があるので。全員協議会の後だけは別として、自分の

仕切りで自由討議をやるということで、これから固定化してやっていきたいと思っているので、その辺は皆さん方にも理解をしていただきたいというふうに思います。

西股委員長 それは全然問題ないですよ。

佐藤委員 4月のまちづくり特別委員会が25日にありますよね。それまでに第1回目の自由討議をするということですか。

西股委員長 まだその日にちの話はしていませんが、今家塚さんが言った部分というのは、次のまちづくり特別委員会までの間にやってくださいと言っただけなんです。そしてまずは何をするかということと、グループ分けはこれでいいのかということとをまずは固めていきたいなと思うんですが、これらについてのところでご意見があれば承ります。グループはこのメンバーでよろしいですか。(はいの声)

それではグループはこのメンバーでとりあえず走らせていただきます。次の部分で、何をテーマにするかというのは、3つのグループが1つのテーマを協議していくという内容になりますので、今言われた部分では懇談会のあり方の関係ですとか、一般質問と予特・決特のあり方、そういうことについてを協議していこうということで提案があったわけなんですけど、これに限らず何かあれば意見を出していただければと思います。なければこの中から選ぶということで、いかがですか。

湯本委員 これは、場合によってはすべての班で同じテーマを選択するという事になっても構わないんですか。

家塚委員 議会懇談会をやりましょうということになれば、3班とも同じテーマで討議します。

側瀬議長 もう少し将来の議会として何か町のことも一つぐらい入れないかなと思うけど。

西股委員長 最初に考えていたこちらのほうの思惑としては、ここらのほうから入って行って一発でこの答えを出せるのであれば、そこから次のステップにいくだけでも移れるかなというふうに思っているんです。ですから、例えば今やられている懇談会が今言ったように分科会がいいんだとか、そういう話があるのであればそこらをもっと深く考えていくとか、みんなで協議するというのも一つのあり方だし、一般質問と予特・決特の質問の状況だとか、そういうのも振り返ってみてどうなのかということも、話し合う材料としては面白いのかなと。

側瀬議長 だけど分科会形式だと、今回やって3、4回目だよ。元はコロナ前はほとんど分科会でやっていたから。だけどそれを知らない人もいるから、本当にいいのかわるいのかというのはあるけど、それぞれみんなから意見を徴収するのはいいけど、懇談会とは何か違うような気がするんだけど。みんなが話せばいいという話ではないから。その辺を間違ったらただのガス抜きの会になってしまうだけの話で、何も将来展望が見えてこないような気がするんだけど。疑問を言えばけどね。ただ、このことに対して今始まったんだから、私は違うんだ、そうだって言ってくればちゃんと討議になるわけだから。

西股委員長 昨日副委員長と2人で打ち合わせをした中では、イチオシは正直に言って、一般質問と予特・決特の話です。

細川委員 できれば議会報告懇談会については、広報のほうである程度案がまとまったものに対しての意見をいただくほうがいいと思うんです。

西股委員長 別にだからそれにこだわってはいないから、今こういう中からそれは選んでいってもらえばいいし、違うものがあればどんどん出してほしいということですよ。

側瀬議長 今はやり方の勉強会みたいなものだから。本来は町の将来構想ぐらいまでいってくれたら大したものなんだけど。

熊木委員 私も今回のテーマは初めてやるのでいいと思います。そこで話をすることに慣れていって、本音をそこで出せるようになって、それをまた3班が報告して、そういう意見もあったのかということなので次のステップに進んでいけばいいと思うんですよね。それでやはり将来的にはこの町をどうするかとか、自分たちもやはりこの町にどんな夢を抱いているとか、少子化のことだとか、いろいろ政策に関わることに発展して深い議論ができていけば、やはり議会としての力もついていくし。だから将来はそういうことを目指していけるように進めていけたらいいなと思います。

佐藤委員 この3人で集まることで、今後南幌がどのようにしたら活性化していくとか、そういう形の話をするれば盛り上がると思うんですけれども、例えば一般質問だけとか予算委員会だけに絞ってしまうと、どれだけ話せるのかなと個人的には思います。

西股委員長 今までしている一般質問の内容とかを評価したっていいと思うし、予特の質問事項を見て、こんな質問をしていてどうなんだという話もあるかもしれないし。だからそういうふうにしていったら、例えば今度は決特に向けてだって意識が変わるかもしれないし、6月の一般質問についても変わってくるかもしれないし、そういうところの狙いも出てくるので。だから、話し合っているいろいろやっていく部分というのはやはり全然違うと思うんです。

側瀬議長 また熊木さんはおもしろくないかもしれないけど、一人ひとりの質問も大事なんだけど、やはり代表質問をするということは重みが違うから。そういうのもやって、軽くやって、その中身からいったらいいんじゃないかというのがあるから。だから国会だってどこの県だってまず代表質問から始まるんだから。それが深く追及なんかしなくたっていいんだから、このことがどうなのかという話をみんなやってくれれば、ただ個人でやったらそれだけで終わればいいのかと町でやりたい放題だから。寄ってたかっていったらそんな簡単になるわけがないんだから。

西股委員長 まあ今回の1回目というのは試験的な部分もあるので、どういうテーマにしたら意見が出るかなんていうのは我々も捉えていないので。だから案としてこうやって出させてもらっているのもあって、その中で今度は3人集まった中でどういうふうに話を持っていくのかということが面白いかなと。

湯本委員 そうやって広げていただけるといいのですが、やはり町の将来像というのは外せないと思うんです。それに伴ってこれらのこともどうかというのが検証されていくので、どれだけ深くできるかどうかということはあるんだけど

ど、それは今言われたような形の中で、検討の材料の中に入れてきていいということですよ。

側瀬議長 よそであまり自由討議の内容までは公表していないんだけど、公表している所もあるから。それぞれそういうものを見てみたら、すごいと思うよ。まあやっぱりそういう形で少しでもみんなの議員力を高めてもらうためにやるだけの話だから。

西股委員長 でも今新しい方とかが多い中では、やはりこういうことをやって経験を積んでいくというの必要なのかなと思うんです。いろいろ見ていて思う部分もあるので、この3人で話し合ったりするほうが意見も出やすいのかなと思いますし。考え方としてはそのようなフリートークの場所でやってほしいなど。それで今言った3人の中で協議して日程を決めて、次のまちづくり特別委員会の中でその発表をしていただくというようなことの繰り返しになるのかなと。だから1回目はこのテーマでやって、2回目はまた違うテーマでやりたいということであれば、それはそれで出していただければそれでやるというような感じになってくるので。

星委員 ちょっと今までのことを聞いていてわからないというか、自分の中で疑問に思っていることがあるんですけど、この3班方式の分科会をやる元々のきっかけが発言力を高めていこうというところはわかったんですけど、それを今度は3班3人で話し合っ、そして今度は議会の皆さんでそれぞれ考え方が十人十色、いろいろだと思うんですね。それをまとめるための3班ではないということですか。この3人で話している中で意見がそれぞれ分かれてきますよね。それぞれの考え方が分かれていたら分かれていたで、まとめようとはせずに分かれたことをそのまま報告するという形でいいでしょうか。

西股委員長 間違っているとすれば問いただすだとか、そういうのはあるだろうし。

星委員 その間違っている、間違っていないというのが、私の中でちょっとまだわからないのですが。

西股委員長 お互いの意見の相違があるかもしれないので。

星委員 やはり自由討論しているうちに相違は出てくると思うんですね。その間違っている、間違っていないというのが、これから先の未来について考えることに間違っているとかが間違っていないということがあるのかというのがちょっとわからないです。

西股委員長 こちらのほうで提案しているのは、一般質問だとかこの間やった予特の関係だとか、決特だとかをやってきている中でどうだったのかとかですね。今出しているのはそういう話をしていたんです。最終的には町の将来とかそういうテーマを設けて、そのテーマにあわせてみんなの意見を出していけばいいんです。

星委員 一般質問もそれぞれ方針や方向性もいろいろ違いますが。

側瀬議長 逆に今後は答弁者になったつもりで考えれば、また別な考えが出るから。だけど行政とかいろんなまちづくりというのは、時間が経ってあのことをやっておいてよかったとか、みんなが賛成したのに何年か経ったらあんなものはつくりなればよかったというのがあるから、そういうことで発言力をつけて、議員力を

つけて人の考えも聞いて、まとめていくという力をつけたいなと思って。だから自分が言っていることが全部正しいわけではないから。逆に新しい議員さんのほうが正しいことを言っている場合も多いかもしれないし、だからこの11人が選ばれたんだから。そんな簡単に同じ意見でいかないかもしれないけど、町長はもう職員も全部味方に付けて、そこと戦うとなったらどうするかって、この分野まではお互いに行こうとなれば、逆に言ったら議会で町を変えられるから。

西股委員長 今町長は黙って受けて答えているんだけど、逆に反問権を出されて質問された時に答えられる議員さんはいるのかという話になるんですよ。真面目にそこまで踏み込んで調査してつくっている一般質問というのはどのくらいあるんでしょうかというのもあるんです。だからこの中で一般質問だとか何とかと書いているのは、そういう部分をそこまで気を遣って質問をつくっていますかという話もみんなですてみたら、今度はつくるやり方を考えないかいという話で。

側瀬議長 本当にみんなの質問を聞いていたら、最後にお問い合わせで終わっているものは、本当はみんな町長なんかそのとおりにやりたいんだって。だけど予算とかをみたら優先順位があってできないとかさ。それを言われてしまったらもう一発で答えなんかなくなって終わりだからね。やってくださいという質問をしているけど、そうではなくて町の将来性をどう思っているんだとか、もう骨格に迫ってやるのが本当の質問だと思うんです。

西股委員長 やはりそのつくり方だとかそういうのもみんな話して行って、こういうところが甘かったんじゃないかだとか、そういう話ができれば一般質問だって大分変わってくるだろうし。予特だって黙って聞いて行って、予特の質問として本当にふさわしいのかというような質問だって出ているんだから、やはりそういうところをみんなの前で大きくやるのではなくて、こういう小さいところでもちょこちょこやっていくと違うんじゃないかということなんです。

(暫時休憩)

西股委員長 とりあえずテーマの関係は、この一般質問だとか、予特決特の関係でよろしいですか。

高橋委員 先ほどおっしゃった反問権というのは一般質問の時に町長が突然質問してくるといことなんですか。

西股委員長 簡単に言えば、質問に対してこのことについて高橋議員はどう思いますかとやられるだけの話。だから答える準備もしながら、そういうものの裏づけを持って質問の組み立てをしていますかということを使ったわけです。

高橋委員 では事前に向こうからこういう反問権を使ってこうしますよという前提なしで、その時にいきなり来るといことなんですね。

熊木委員 開催場所だとかおおむねの時間とか、そういう話は今決めないんですか。

西股委員長 決めませんのでそのグループで決めてください。

側瀬議長 グループの年功者が決めてやればいいので。

西股委員長 どこでやって、何と言ってもいいので、次のまちづくり特別委員会

までにとということです。それではとりあえず今までの復習で、グループ分けは決めましたし、タイトルも決めましたと。それと開催日時等については今組んだグループの中で決めてやってください。そして報告については次回のまちづくり特別委員会で発表していただくということまでは決めさせていただいてよろしいですか。(はいの声)

側瀬議長 まずはやってみて、やはりみんなでやったほうが良いとなったらまた戻せばいいし。

西股委員長 だから人数も3人に確定しないというのであれば4人ずつになったり5人ずつになるというのもあるということです。基本単位は3人で、今のメンバーも変わるかもしれないということも頭に入れながらということ。

側瀬議長 やるなら奇数でやらなきゃだめだって。偶数だったら一緒になってしまった時に困るから。

西股委員長 それで、開催する時は事務局のほうに日時と場所を連絡しておいてください。開催場所は基本的に多分議員控室が1番使いやすいのではないかなと思いますが。

佐藤委員 各委員長が1名ずつ入っているんですけど、やっぱり委員長が仕切るような感じですか。

西股委員長 それについては先ほども言っていると思いますが、その3人の中で決めていいです。年長者がやるのであれば年長者の方でやればいいし、だからその決めはグループでお願いします。それでは最後のほうに移らせてもらってよろしいでしょうか。(はいの声)

(2) その他(視察研修・多良木町訪問)

西股委員長 それでは最後に視察研修の関係です。まず1点目です。今年は多良木町の訪問とあわせて道外視察研修を同時に行おうというようなことで前に議長も言っておりましたので、その方向で進めていきたいなというように思っております。それで、児童交流の関係をあわせて道外研修をやるということになると、児童交流の日程が8月の2日、3日に決まっています。それにあわせるということになると、今から準備をしないと間に合わなくなるので今回提案させていただくわけなんですけど、そういう行く場所もあわせてこれから検討するというようお願いしたいと思います。それと訪問の関係なんですけど、今年は5か6名ですね。

側瀬議長 まあ5、5にして考えてくれればいいかなと思います。それと今年の場合だったら、ちょうど自分は下旬に要請活動があるので。

西股委員長 その辺もあるということになってくると、5名5名でやると。それで今までのやり方というのは、総務なら総務、産経なら産経ということで委員会ごとに行っていたのですが、委員会は一応来年で2年任期の中で変わるかもしれないということになりますので、そうなるかと抽せんをした中で1班2班を決めようかということ、梶田さんがくじを用意してございます。ということで、抽せんを5名を決めさせてもらってよろしいですか。(はいの声)

それともう一つなんですけど、奇数を引いた人は今年、偶数を引いた人は来年とい

うことで。

側瀬議長 多良木の児童交流にあわせて行くのなら8月2日、3日にあわせて、やはり目的としては子どもの姿を見に行かなかつたらだめだから。来年行けるんだつたらそれでもいいんだけど、児童交流があるかないかもわからないし。

(暫時休憩)

西股委員長 では発表します。今年行く組は私と星さん、石川さん、熊木さん、高橋さん。来年が細川さん、佐藤さん、加藤さん、家塚さん、湯本さんです。それで参考にとということで、ここに九州のこんなものがあるよという程度で資料を出しております。

側瀬議長 多良木から佐賀だったら、高速に乗ったら1時間半くらいか。

西股委員長 こんなものがあるよということで見ておいてください。

側瀬議長 それは行くメンバーで決めてやってくればいので。

熊木委員 時期とかそういうのはどうすればいいんでしょうか。

西股委員長 行くメンバーで決めるけども、8月にするか、あとは10月とか11月にするかの話です。

側瀬議長 10月の何もない時でもいいから、今回のやつは議員として行かせるんだつたら、どうせなら児童交流も項目として見たほうがいいんじゃないのかという話。それで多良木に泊まる、泊まらないは別だから。向こうに迷惑をかけるわけにもいかないし。その時期で行けなかつたら誰かが交代してもいいので。今年児童交流にぶつけるか来年児童交流にぶつけるかは別だから、どちらかは児童交流にぶつけてほしいなと思うだけです。あとは住民から見たら何で行ったんだということを言われて、いや、決まったから行きましたという発言をされても困るなと思うだけで。

熊木委員 できれば時期が違えばいいんですけど。

西股委員長 1班で動くんだつたら8月よりも10月ぐらいがいいということですね。わかりました。これはグループで集まってどうするかを話したほうがいいです。それではそのようなことで進めさせていただいて、決まった関係についてはまた後から連絡します。(はいの声)

それで次回のまちづくり特別委員会の日程なんですが、4月25日の午後2時から開催を予定しています。連絡会議は同じ日の午後1時からです。ですから先ほど言った分科会については、4月24日までに1回目をやっておいていただくということでよろしいでしょうか。(はいの声)

それでは全体を通して何か質問、ご意見があれば承ります。(なしの声)

なければこれで終わらせてもらってよろしいですか。(はいの声)

それでは終わります。

お疲れさまでした。

(午後 3時50分 終了)